

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年7月2日～7月8日)

平成 27 年(2015 年)7 月 10 日

H E A D L I N E S

政治

「法と正義」(PiS), 政策党大会を開催
 コモロフスキ大統領, ウクライナを訪問
 スロバキアとの防衛産業に関する合意書署名
 スヘティナ外相, アイルランドを訪問
 コモロフスキ大統領, ドイツを訪問
 スイス大統領, ポーランドを訪問

経済

政府がVAT減税計画につき発表
 7月の政策金利は1.5%
 5月の輸出は8.6%増加
 6月のPMIは再び上昇
 6月の新車登録台数が上昇
 Amazonの雇用に関する報道
 熱波によりエネルギー消費が上昇

大使館からのお知らせ

交通違反に対する取締りの強化
 教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

「法と正義」(PiS)、政策党大会を開催【3日～5日】

3日～5日、最大野党「法と正義」(PiS)は、ポーランド南部のカトヴィツェにて政策党大会を開催した。4日にはPiSの首相候補であるシドゥウオ副党首が重要政策を発表し、年金受給年齢の引き下げ、所得

に対する税控除額の引き上げ、2人以上の子供を持つ家庭に対する補助金の支給等に言及した。また、シドゥウオ副党首は、PiSの政策実現には財源が足りないとの指摘があることに関し、具体的予算額を示しつつ新税の創設等で十分足りる旨述べた。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領、ウクライナを訪問【2日】

2日、コモロフスキ大統領はウクライナ西部のリヴィウを訪問し、ポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談を行った。コモロフスキ大統領は、会談後に、ポーランドはウクライナの欧州統合路線及び改革努力を支援し続けていく旨述べた。またこの機会に、同大統領は、自らが大統領職から退任した後に研究所を設立する考えを示した。

における国民投票の結果を受けて、ユーロ・グループとギリシャの合意を導くための対話を開始すべきである旨述べた。

スロバキアとの防衛産業に関する合意書署名【3日】

3日、ポーランド南部のシエミアノヴィツェ・シロンスキエにおいて、コパチ首相とフィッツォ・スロバキア首相が、装甲運搬車製造にかかるポーランドとスロバキアの共同出資に関する合意書に署名した。

コモロフスキ大統領、ドイツを訪問【8日】

8日、コモロフスキ大統領はドイツを訪問し、ガウク独大統領、シュタインマイヤー独外相及びラマート連邦議会議長と会談を行った。コモロフスキ大統領は、ドイツとの良好な関係はEU内におけるポーランドの立場を高めるものであり、次期大統領も良好なポーランド・独関係を推進していくことを期待する旨述べた。

スヘティナ外相、アイルランドを訪問【6日】

6日、スヘティナ外相はダブリンを訪問し、フラナガン・アイルランド外相と会談を行い、主にギリシャ危機及びウクライナ情勢等の欧州の共通の課題につき意見交換した。スヘティナ外相は、前日のギリシャ

スイス大統領、ポーランドを訪問【8日】

8日、ソマルーガ大統領がワルシャワを訪問し、コモロフスキ大統領及びコパチ首相と会談を行い、主にスイス・EU関係、ギリシャ危機、欧州の移民問題、スイス国内における人の移動の自由に対する制限に関する国民投票等につき意見交換した。

経 済

経済・財政政策

政府がVAT減税計画につき発表【8日】

コパチ首相は、健全な財政状況を受け、付加価値税(VAT)率を2016年1月から現行の23%から22%に引き下げる方針を今秋に発表すると述べた。VAT率の変更により政府の歳入は50～60億ズロチ程度減少するが、同時に政府は他の税制改革も推進することを示唆している。

7月の政策金利は1.5%【8日】

金融政策委員会(RPP)は、月例会合を開催し7月の基準金利を1.5%に据え置くことを決定した。RPPは、今後数カ月間はデフレ傾向が継続されると予想しており、同時に中長期的には好調な国内労働市場により物価が回復する兆しも見えているとしている。また、9月に現在のインフレ目標値2.5±1%を見直すことも提案している。

マクロ経済動向・統計

5月の輸出は8.6%増加【1日】

5月の輸出は、ユーロ建てで前年同月比8.6%増、前月比3.1%減となる140億4千万ユーロとなった。ズロチ建てでは前年同月比6.1%増、前月比1.8%減となる573億ズロチ。2015年通年では、

前年比12.2%増の1,766億ユーロ、若しくは同10.4%増の7,276億ズロチの予想が出ている。

6月のPMIは再び上昇【1日】

6月の購買担当者景況指数(PMI)は、5月52.4ポイントから4カ月ぶりに54.3ポイントに上昇した。9カ月連続で新規受注と鋳工業生産が増加している

ことが主な理由で、これでPMIは9カ月連続で標準値の50ポイントを上回っている。

ポーランド産業動向

6月の新車登録台数が上昇【3日】

2015年6月の新車(乗用車と商用車)登録台数は前年同月比で10.04%の上昇となる34,554台となった。1月から6月までの累計は前年同期比で2.8%の上昇となる202,067台であった。

Amazonの雇用に関する報道【6日】

Amazonポーランド社がポズナン近郊にある2カ所のロジスティックセンターで数千人を雇用する計画があると報じられている。他方、別の記事では、Amazonの

従業員の中には、低賃金や肉体労働を伴う過酷な労働環境への不満の声を上げる者が出てきていると報じられている。この記事では、労働組合が給料アップや労働環境の改善を求めていることが紹介されているほか、フルタイムの従業員よりも超過勤務への措置のないパートタイムの従業員を多く雇用していることへの反発等が紹介されている。Amazonポーランドは、雇用契約を踏まえていることや法定時間よりも長い休憩時間を与えていると述べている。

エネルギー・環境

熱波によりエネルギー消費が上昇【8日】

ポーランドを襲った熱波の影響で、ピーク時の電力需要はこれまでの記録を1,000MWを上回る2,179MWを記録したという。夏場は電力会社にとって、エアコンの使用による需要の増加や発電所の停止も起こりやすくなるなど、いわば厳しい季節である。発電システムの運用事業者であるPSEによ

ると、河川水を冷却水として引用している発電所では川の水深が浅いことによりいくつか問題が発生しているという。また、同社ではシステムの運用にあたり、送電に影響のある高温も含めた様々な要因を考慮し電力を調達しなければならないと述べている。

大使館からのお知らせ

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584-73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

交通違反に対する取締りの強化

国内における交通事故の増加に伴い、法律が改正され、5月18日より、飲酒運転やスピード違反を始めとする交通違反に対する取締りが格段に強化されました。強化された主な内容及び注意すべき点は下記のリンク先をご参照下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/traffic.pdf>

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf> にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 展覧会：日本の織物展「Wielowatkowe Piekno」【6月2日(火)～9月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の織物デザイン及び技術に関する展覧会が開催中です。

開催場所：クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl>

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【6月13日(土)～9月6日(日)】

トルンにて、トルン旧市庁舎博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：トルン、トルン旧市庁舎博物館、Rynek Staromiejski 1

詳細：http://www.muzeum.torun.pl/strona-654-arcydziela_sztuki_japonskiej_w.html

【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【6月18日(木)～8月9日(土)】

ワルシャワにて、ワルシャワ国立美術館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：ワルシャワ、ワルシャワ国立美術館、Al. Jerozolimskie 3

詳細：

<http://www.mnw.art.pl/edukacja/programy-do-wystaw-czasowych/arcydziela-sztuki-japonskiej-w-kolekcjach-polskich/>

【予定】斎藤圭土のピアノコンサート【7月9日(木)、10日(金)、11日(土)】

バルティック・ネオポリス・オーケストラ協会主催による「斎藤圭土のピアノコンサート」が開催されます。

スケジュール：

2015年7月9日 西ポモージェ県、コウオブジエク市、Bazylika Kontrkatedralna, 20時20分

2015年7月10日 西ポモージェ県、シフィノウイシチェ市、Amfiteatr, 21時

2015年7月11日 西ポモージェ県、ダルウオボ市、Rynek Miejski, 17時

詳細：<http://www.balticneopolis.pl/index/news>

【予定】 アニマツリ2015【7月10日(金)～12日(日)】

ワルシャワにて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による日本文化紹介イベント『アニマツリ2015』が開催されます。コスプレの他に、日本の伝統的な音楽や踊り、日本に関する講座、ワークショップ、コンテスト等が予定されています。

開催場所：ワルシャワ、Zespół Szkół nr 55, ul. Gwiazdźista 35

詳細：www.animatsuri.pl

【予定】 水曜映画上映会「菊次郎の夏」【7月15日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「菊次郎の夏」が開催されます(日本語音声、英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】第2回国内日本犬種の展覧会【7月25日(土)】

チェンストホヴァ市にて、ポーランドケンネル協会主催による『第2回国内日本犬種の展覧会』が開催されます。

開催場所: Konopiska, ul. Sportowa 60, Orlik Stadium

詳細: <http://kprj.pl/>

【予定】和太鼓 幻創のコンサート【7月25日(土)18:00~】

ワルシャワにて、ワジェンキ公園主催による『和太鼓 幻創のコンサート』が開催されます。入場は無料です。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ公園, Scena czerwona

詳細: <http://www.strefaciszyfestival.pl/en/>

【予定】第11回国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2015【8月7(金)~8日(土)】

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『第11回国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2015』が開催されます。

開催場所: クロトシン市, ul. Maly Rynek 1

詳細: <http://www.sumo.org.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)